

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)  
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：林 健吉  
副 会 長：岩尾 誠  
幹 事：和田英人  
広報委員長：松森 薫  
会報担当者：廣瀬泰輔・渡邊 剛

2018 年度国際ロータリー会長：バリー・ラシン (East Nassau ロータリークラブ・バハマ)

2018 年度国際ロータリーテーマ：Be The Inspiration (インスピレーションになろう)

<本日のプログラム>

第 2568 回 平成 30 年 7 月 26 日 第 4 木曜日  
総会  
(平成 29 年度事業報告・会計報告)

<次回の予定>

第 2569 回 平成 30 年 8 月 2 日 第 1 木曜日  
50 周年記念事業打合せ  
(羽田野優男会員・林 健吉会長)

<前回の記録>

第 2567 回 平成 30 年 7 月 18 日 水曜日  
合同ガバナー公式訪問  
(白鳥ふれあい創造館 交流ホールにて)

司 会 進 行	松森正和 SAA (郡上長良川 RC)
開 会 点 鐘	林 健吉会長 (郡上八幡 RC)
ソ ン グ	国歌「君が代」・奉仕の理想
特別出席者紹介	林 健吉会長 (郡上八幡 RC)

国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 木村静之様 (岐阜加納 RC)  
地区代表幹事 間宮久人様 (岐阜加納 RC)  
ガバナー補佐 可児昌則様 (各務原かかみの RC)

会 長 挨 拶

・林 健吉会長 (郡上八幡 RC)



木村ガバナー様、間宮幹事様、可児ガバナー補佐様、先ほどは御指導ありがとうございます。先ほどの御指導を、ロータリー活動に反映させていこうと考えております。今後とも御指導のほどよろしくお願い致します。今日は、郡上長良川 RC の皆さんに会えるのを楽しみにしておりました。こうして一緒に合同例会をできますこと、大変嬉しく思います。今回ホストクラブとして、会場準備や色々なお世話をかけました。本当に感謝申し上げます。また郡上長良川 RC さんは、40 周年記念事業を会員が一丸となって大成功を収められ、ロータリーの名を大きく PR されました。そのことに敬意を表します。私たち郡上八幡 RC も今期 50 周年を迎えます。私たちも、ロータリーの名を地区にアピールできるような事業をしたいと思っております。今後

も郡上長良川 RC さんと良い関係を続けながら、両クラブの益々の発展と会員の皆さんの御健勝・御多幸を心より祈念申し上げて会長の挨拶とさせていただきます。

・美谷添里恵子会長 (郡上長良川 RC)



連日の猛暑の中、ようこそ白鳥の地へおいで下さいました。誠にありがとうございます。木村ガバナー様・間宮地区幹事様・可児ガバナー補佐様には、遠路おいで下さりまして誠にありがとうございます。また先ほどは、御指導頂きましてありがとうございました。私たち郡上長良川 RC は今年 41 期を迎えました。昨年 40 周年の記念事業を実施致しまして、今年 10 月 28 日に記念式典を行います。その折には、郡上八幡 RC の皆さんにも、大勢来て頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。7 月に入ってから豪雨は、この郡上の地においても記録的な雨となりました。全国的に郡上・ひるがの・長滝と有名になるくらい降りました。土砂崩れや川の崩壊等はありませんでしたが、幸い人的被害はありませんでした。しかし、いつどのようなことが起こるか、これからのことが不安になります。また梅雨明けと同時に信じられない暑さの毎日ですが、これは地球全体の変化だと思われま。天災は社会の弱さを示す、自然に反抗する人間の細工ではないかという意見もあります。私達は今後、何をすべきか考えさせられるこの頃です。ロータリーの活動も、地球のために何ができるか考えなくてはいけないのではないのでしょうか。本日は木村ガバナー様に色々御指導頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 地区大会PR 地区代表幹事 間宮久人様



皆さん、こんにちは。はじめまして。期が始まりまして早々に皆さんの前でお話しさせて頂くことができ、誠にありがとうございます。本日は

地区大会のPRでお時間を頂きました。皆さんのお手元にパンフレットを配布させて頂きました。先日の8日に地区企画会議で承認を頂いた内容に基づきまして来たる10月13日(土)・14日(日)に岐阜の地は長良川国際会議場をメイン会場として、2日間に渡り予定させて頂いております。ぜひ皆様、おひとりでも多くの方にご登録をお願いする次第でございます。と申しますのは、ここのところ地区大会もややマンネリ化しており、先ほどの懇談会でもご意見を賜りました。地区大会ですとどうしても、表彰式や関係者の発表会など会議としてしなければならないことが前日でございます。翌日の日曜日にはある程度お祭りの要素が大きくなりますので、できるだけ皆さんの注目を集められるゲストスピーカーをお呼びしてということではありますが、近年は少し登録して頂ける方が少なくなりまして、なかなか大会費用が捻出できないということが生じております。一昨年の高山は1,500人を少し満たしませんでした。先年の三重県・伊賀上野の地での地区大会は1,600人でした。3,100名を擁する第2630地区におきましても目標を1,600人とし、皆様のご協力を頂きまして登録をお願いします。一昨年の高山での地区大会で50%登録というのが採決され、各クラブ地区大会50%を目標にして下さいということです。特に新会員の方は、地区大会・地区協議会を一度は経験頂くという課題もございます。私が新会員だった25~26年前、当時新会員は出席義務だったように記憶しておりますが、いつの間にかそういった決まりも無くなりました。厳しい折ではございますが、特に新会員の方には登録をお願いします。翌日は各クラブ紹介やアグネス・チャンさんの記念講演があります。土曜・日曜の出席をお願いしたいのですが、岐阜公園も整備されてきたので一般会員の方は日曜日に観光を兼ねて登録・出席して頂ければと思います。お時間頂きました。ありがとうございました。

## 幹事報告 和田英人幹事

- ・訃報のお知らせ。6月29日 服部芳樹パストガバナー様ご逝去
- ・地区事務所より、7月29日地区研修委員会・職業奉仕委員会合同研修セミナーの再案内
- ・美濃加茂RCより、8月度例会変更のご案内
- ・米山奨学会より「ハイライトよねやま220号」拝受

## ニコボOX 國田大雄クラブ奉仕委員

- ・本日は宜しく願います。 **木村静之様**
- ・本日は宜しく願います。 **間宮久人様**
- ・本日はお世話になります。 **可児昌則様**

- ・ガバナー・木村様、地区代表幹事・間宮様、ガバナー補佐・可児様 ようこそいらっしゃいました。本日はよろしく願います。又、郡上長良川RCの皆様ご苦勞様です。よろしく願います。

林 健吉

- ・木村ガバナー様、間宮地区代表幹事様、可児ガバナー補佐様、本日は宜しく願致します。郡上長良川RCの皆様お世話になります。宜しく願います。

和田英人

- ・入会以来39年8カ月、クラブ例会2,033回皆出席皆さんの友情に感謝。 **大畑於左武**

- ・ガバナー・木村様、地区代表幹事・間宮様、ガバナー補佐・可児様 ようこそ郡上市へ。歓迎致します。郡上長良川RCの皆様 本日はよろしく願致します。

羽田野優男・岩尾 誠・河合 修・川井昭司  
國田大雄・前田伊三夫・松本英樹・村土時男  
長尾信幸・西川 昇・西村 肇・小笠原正道  
大川達也・大前正行・酒井智義・澤崎 茂  
竹内巧治・和田詠伸・山下友幸

## 出席報告 竹内巧治担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
40名(免除1名)	22名	14名	36名	92.3%

## ガバナー卓話 地区ガバナー 木村静之様



皆さんこんにちは。

先般の豪雨災害で避難された方もおられたそう、お見舞い申し上げます。郡上八幡クラブは、創立50周年で例会出席率の高いことが注目点です。大畑会員が98歳でご出席です。郡上長良川クラブは創立40周年で女性会員が多いことが注目点です。

1 まず、RI会長のテーマについてお話しします。  
“Be The Inspiration” 「インスピレーションになろう」です。バリー・ラシン会長はバハマの方で、医療機関経営のスペシャリストです。バハマは、米フロリダ半島とキューバの間、カリブ海に浮かぶ島です。テーマロゴはカリブ海の荒波を表しています。「インスピレーションになろう」の意味ですが、日本語で「インスピレーション」は「ひらめき」というような意味で使い、「インスピレーションを得る」という言い方をします。英語のINSPIREは、「鼓舞する」「意欲を喚起する」という意味があります。そうすると、「インスピレーションになろう」とは、他の人たちに対し「インスピレーションを与える」、「何かをやる」という意欲を吹き込む、「心に火をつける」そう

いう人になろう、という意味になります。先月逝去された服部芳樹パストガバナーは「燃えよロータリアン」という名訳をされました。

ラシンさんは、前向きな変化を生み出す意欲を、クラブからも、地域社会からも、組織全体からも、引き出したい、意欲を引き出すための「インスピレーション」になりたい、あるいはなつて欲しいと述べておられます。

2 今年度の、私のガバナーとしてのテーマは「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」というものです。まず、「理念をかかげ」をテーマにした理由です。世界のロータリーの趨勢が、近年、いささか「奉仕活動のロータリー」に偏っていて、理念が薄くなっている、という意見が特に日本のロータリアンから出ています。

**奉仕活動のロータリー** 増強、財団、寄付、プロジェクト推進を重視する面

**理念のロータリー** 職業奉仕、4つのテスト、例会を重視する面

私は、奉仕プロジェクトを活発に行うことは非常に大切なことだと思っています。ただ、世界のロータリーは、新興国の会員が増えてきたということもあって、「奉仕活動のロータリー」に傾いていると言えます。そのため「ロータリーの多様性」を認めざるを得ない状況で、2016年の規定審議会で大きな改正がなされました。例会は月2回でもよいとされました。当時のRI会長が「例会を何回開いたかよりも、地域社会にどのような変化をもたらしているかのほうが重要だ」と述べました。サンディエゴの国際協議会での私の体験ですが、新興国のガバナーエレクトは名刺と一緒に織物のポーチとか袋とか、名刺代わりの記念にしては立派過ぎるものをプレゼントしてくれました。先進国のロータリーから援助を引き出すことがガバナーの力量であり功績なのです。新興国の会員が増加し、先進国の会員が減少していることから、「奉仕活動のロータリー」に偏っています。そういう状況にあって、私はあえてロータリーの原点である理念を強調しなければならないと思うのです。

まず、職業奉仕の幹の中にある「奉仕の理念」をしっかりとかけろ。「かけろ」とはロータリーのモットー・4つのテスト・ロータリーの目的(綱領)に表される基本理念をいつも意識して、職業生活・社会生活で実践することです。最近も、日本を代表する企業で「偽装事件」などが発生しています。「産地の偽装」とか「等級の偽装」といった事件も発生しています。我々ロータリアンの感覚からすれば由々しき問題だと言わざるをえません。

3 そして、大切なのが例会です。例会は、職業人としての倫理を向上させ、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしたい。理念の浸透を図る

のは例会です。

若手会員の皆さんは仮に例会が減ったら「ラッキー」と思うか「残念」と思うか。仕事で忙しい世代は、例会に出る時間を作ることに苦労しているかもしれません。しかし、例会に出れば先輩や友人に会えるし、顔を合わせてこそ信頼関係を育むことができるのです。「例会に出席義務」があるといいますが、義務感から出席するのではなく、楽しいことがあるから出席するというようになっていただきたい。他方、例会のプログラムを企画する側も工夫をして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。

これに関連して、クラブ内での研修態勢を整えることも大切です。クラブの中に「研修リーダー」を作ることを推奨したい。

4 「会員基盤の強化」が必要です。増強できなければロータリーは衰退します。若い世代や女性会員に入ってください。今や、女性が仕事を持つのも社会的な活動をするのも当たり前になっています。そうであれば、ロータリーのメンバー構成もそれに応じて多様になっていなければならない。今世界でロータリーの女性会員は20数%ですが、日本は5~6%。当地区では4.9%(三重県7%・岐阜県3.2%)。これを5年以内に15%にしたいと提唱されています。多様性(ダイバーシティ)は発展の基礎です。もともとロータリーは多様な職業人からなっています。

増強の現実は、各クラブ1年間で平均1名の増強ができていません。各クラブ1人増えれば地区全体で75人増えるのですが、現実はそのまで行っていません。よく増強セミナーで、増強のためにどうすればよいかという話が出ますが、私は、クラブの中で一人一人の会員を大切にすること、会員が奉仕に対する意欲を持つこと、クラブを魅力あるものにすることであると思います。

5 次に、意欲を喚起するにはどうしたらいいのかということです。ラシン会長は行動力のあるリーダーらしく、意欲を喚起するには「熱意を持って強く伝える」とか「自らの行動で範を示す」、ということをおられます。私は、少し視点を変えて「感動体験を話そう」ということをご提案します。ロータリーでの感動体験をお互いに話すことです。ロータリーでは、見返りはお金ではなく感動です。奉仕活動で感動したこと、職業奉仕の面でも感動したこと、そういう感動体験は自分自身の中でさらなる意欲となりますし、そのような話を聞いた人も意欲が湧いてきます。意欲を喚起することによってクラブは元気になり、充実した活動に繋がります。

6 次に「共に行動」です。奉仕活動として何をするかは、各クラブの情報収集と創意工夫です。各クラブでアンテナを広げ、地域社会で何か改善すべき点はないか、あるいは、世界で必要とされ



ている課題は何か、という観点で取り上げていただきたい。どんなプロジェクトをするかは、地区の奉仕プロジェクト委員会からも情報を得ることができます。「財団の地区補助金」を活用した奉仕プロジェクトは、多くのクラブで実行されています。毎年でなくても活用していただきたい。また、「グローバル補助金」は、少し規模の大きい国際的な活動をする場合に使えます。

7 グローバル補助金事業のとしてひとつご紹介したいと思います。RIの2016-17年度年次報告に、当地区の中津川クラブと中津川センタークラブが行った「母子の健康」に関する事業が取り上げられました。これがRIの年次報告書です。全28頁のなかの1頁を使って紹介されています。ブラジルのサンパウロ州で乳児死亡率が高い地域がありました。地元のレジストロロータリークラブと中津川のクラブが共同して、現地の医療施設に医療機器を提供し、住民を対象に産前ケアのワークショップの推進もしています。中津川市はレジストロ市と姉妹都市になっているというご縁だったそうです。グローバル補助金は、6つの重点分野に該当するという要件や、持続可能性という要件が必要です。現地の人たちが活動に加わったことも必須です。外国のクラブと一緒にやるため言語など意思疎通が難しいことがあり、失敗例も報告されていますが、地区の委員会(奉仕プロジェクト委員会、国際奉仕委員会、財団委員会)がサポートしてくれます。

事業は「持続可能性」が求められます。持続可能性(sustainable)という言葉は、最近、国の政策で「持続可能な開発」とか「環境の持続可能性」、企業経営で「企業の持続可能性」、「持続可能なコーヒーの追求(スタバ)」などと、よく使われます。ロータリーでは、「持続可能な変化」をもたらすような援助をすることが大切です。単に物を寄贈するだけというのではなく、現地の人も加わって、将来的に現地の自助努力でやっていけるように手を貸す、ということが大切です。「魚を与えるより魚の取り方を教える」ということです。

8 ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面でも高い評価を受けています。

9 次に「公共イメージと認知度の向上」についてお話しします。ロータリーは意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかは知られていません。なぜ公共イメージ向上が必要か(なぜ広報宣伝しなければならないか)というと、「いいこと」をしても知られなければ広がりがないからです。公共イメージが向上することによって、世間から注目され、人が集まるようになり、我々の励みになります。方法として、奉仕活動の機会をとらえて、視覚的に伝えるのが効果的です。チラシ・パンフレット・写真・インターネット・ロ

ーターローゴの入った看板・横断幕などです。その際、ロータリーの理念である「4つのテスト」や「ポリオ撲滅まであと少し」も伝えたい。

10 “PEOPLE OF ACTION”「世界を変える行動人」はRIのキャンペーンです。たとえば、奉仕活動の写真に掲載する場合に「行動」をイメージできる写真にする、など提唱されています。このロゴはマイロータリーからダウンロードできます。チラシなどに使ってみてはいかがでしょうか。

11 ロータリー賞、RI会長特別賞を目指してください。昨年までは「RI会長賞」といっていました。3つの戦略的優先項目に沿って項目がいくつか並んで選択するようになっていました。それほどハードルは高くないので達成可能です。目標に挑戦することによって意欲を喚起することができます。

12 ポリオ撲滅の問題があります。30年前の毎年推定35万人が、いまご覧のようになっています。3年間続けて0になれば撲滅したと言えるのですが、今年になってアフガニスタンとバングラディシュで6月までに11件発症が確認されています。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ることと思います。引き続き寄付のご協力をお願いします。

13 もうひとつは、環境の持続可能性を守ることです。地球温暖化問題等、ロータリーも取り組むことができます。

14 日本のロータリー100周年についてお話しします。日本のロータリーは1920年に東京で創設されました。このたび、「日本のロータリー100周年実行委員会」から、各地区に、記念の鐘(ゴング)が贈呈され、ガバナー公式訪問の際に点鐘してほしいということです。台座に2630地区全クラブの名前が創立順に刻まれています。

15 米山梅吉記念館についてお話しします。静岡県にありますが、これも創立50周年になります。募金を呼びかけています。米山奨学金の寄付とともによろしく願います。また、記念館を一度見に行ってください。

以上で私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

**閉会点鐘** 美谷添里恵子会長(郡上長良川RC)



2クラブ合同会長・幹事懇談会出席者